



発行所 松代公民館 印刷所 松代印刷所 編集者 松代公民館 印刷者 松代印刷所

第三回臨時村議会

清水校復興の件外二件

孟地校は伊澤校と變更なるか

去る三月十七日第三回臨時村議会は本村役場に招集され左の日程により審議された

- 日程第一、清水校復興の件
日程第二、昭二十四年本村歳入出第六回追加予算
日程第三、校名變更の件

先ず、日程第一については清水校最寄秋山廣吉外七名の陳情並に富沢校長の陳謝の辞あつて開議に移行、種々討議の結果建築費二百万円と決定、建築は五間二一一間(外に屋内運動場)とし旧に復することとなり地元の協力を得て請負とすることに決し請負契約その他については内定したが当局に於ては正式手續等を急いでいる。

日程第二については二十二万五千三百三十円の追加予算を議決し、本予算を以て一千七百余万となつてゐる。

日程第三については地元民並に孟地校PTAの要望により孟地校を伊澤校と變更の旨審議し本会に於ては伊澤校と改名することに可決し、目下その筋へ申請中であつて許可あり次第正式に伊澤校に改名することとなる。

春の氣象手帳

春の彼岸が過ぎると急に春らしくなつてくる。彼岸と云うのは暦の上では太陽が地球の赤道直上になる春分を中心に一週間を云う。

今迄南半球にあつた太陽が春分の日を境にして北半球に移るので、一日と晝間は長くなり日射強度は増して来る。上越地方の平均終等は

時艱克服に總力を!

現實の村情勢に眞摯な最大の遺産は人物である!

今回清水校火災につきましては雪中御断下さいまして有難う御座いました。平素火災予防について御協力を御願ひ致して居りましたに拘わらず、斯る大災害を引き起しましたことは管理として誠に相済みぬ次第で其責任の重大なるを痛感致して居る次第で御座います。

私が就任いたしますや六三制教育制度が布かれ中学が義務教育になりましたので当時物資の欠乏、努力の枯渇、インフレの激化等あらゆる悪條件の下、清水校は校舎の一部改築と運動場の新築を完了し以て中学生を收容し未だ日も浅いので御座います。然るに一朝にして此一大建築を烏有に歸したことは何といつても遺憾の極みで今更なる重大な過失を來たさぬよう關係者一同相率いて自肅自戒、眞に村民の公僕として責務を完うしたいと念願して居ります。本村は中学校舎の完成とともに高等学校を誘致し中学校舎の一部を借りて発足致しましたが勤勞しながら勉學するという現今の教育の在り方を理解された生徒の志望者は日一日と増加し來年度入学志望者も百名を突破する盛況で御座います。然しながら高等学校も整理の時期に遭遇しあるものは縣移管に在るものは廢止の運命に立ち至ることになり、校舍を持たぬ松代村も亦存廢の岐路に立つことになりました。村当局としては次第の村民に殘す最大の遺産は「人物」であることに思いを致し、万難を排して高等学校々舎の新築の案を進めてゐる矢先突如今回の災害に遭いました。清水校の復旧はもとより一日の急を争う問題であると同時に高等学校問題も時期を誤れば臍を嘔むの悔を感ずことは當然でありまして、これをやがては直面する農村の經濟状態と併せ考ふる時、稍々もすれば進む方向を見失ふんとさえないいたします。然し冷靜に現實を直視する時、この災害は天が村民に與えた大きな試練、然して村民は禍を轉じて幸福にする以外に方途はありませぬ。願くは村民各位、緊陣一番この苦難を乗り切ることに最善を盡くして頂きたいと存じます。茲に村民各位に對し衷心遺憾の意を表してお詫び申上ると共に更に更に一段の御協力を切望いたします。昭和二十五年三月二日 松代村長

硝酸アンモニアの成分、施用、貯藏法について

最近肥料事情の好轉に伴つて窒素質肥料が非常に増加してきて居る場合によつては石灰窒素又は硫酸のみを希望し硝酸を非常にきらつて居るようになっているが、もし施用する場合に少く用いない方がよいのです。硝酸(五〇〇)程度づつ分施し追肥として用いるのが宜しい。この場合は浅水となし或は排水して施用します。一般に畑作物には非常に適し特に葉の催芽肥料、麥類、蔬菜等には施用法によつてはむしろ硫酸より有効ですが數回に分施することが大切です。又作物の一時期的衰弱した場合は等にも少量用ふれば硫酸以上にも効果があります。施用量は大体硫酸の半量位を土又は水で五〜六倍に薄めて用いますが直接植物の莖、葉によれば根元に近く施さぬようにして下さい。



春の氣象手帳 四月六日頃であるが、昨年は四月十日より遙かに低く、且つ融雪水のたの管理にも天氣予報を參考にして注る。一日中雲一つ無い好天氣が頻繁に現われ六日であつた。雪の心配が少なくなつたから撤土法には十日町の高橋喜平 裏苗代等は当地方には最も適した方 日照時数は四月になると急に多くなつて来る。このような天氣は第一一回の様な移動性高の研究があるが努力の点で多少難法である。温床の設備も初められるり、更に五月には八月に次いで一年中な日は夜間には氣温が甚だしく降り、降霜もある。従来からある「八十八夜」の別霜と云われる通りの多照月となる。冬季間表日本の三あり、曉の夢を破られるような日もある。黒色膠の土なら幾分効果はある。四月の平均氣温は十月、五月は十つてゐる。最晩は昭和三年の五月十日は殆んど差がない位になる。四月の平均氣温は十月、五月は十つてゐる。最晩は昭和三年の五月十日は殆んど差がない位になる。六月位となつてゐる。五月の初めに九日となつてゐるが、昭和二十年に降水日数は大体年間十四乃至十六日の險悪な空模様となる。通常は移動性高氣は水稲播種をするが氣温も地温も適も之よりあまり違つていない。温床で一年間のうち最も快適な季節となれば東進するとその後に續いて

### 配給消費一年に九〇〇万円

本村で一ヶ年に配給消費される主食は別表の通りであります。二十三部落で全々配給の不要な部落は池の畑一部落です。配給量の一番多いのは松代で犬伏、蓬平、清水が之についで居ります。

昨年まではこれ以上の配給量でしたが昨年七月一日より人口区分調査で受配対象者(不完全農家)は相当に窮屈になったのであります。今年度より不完全農家は保有量の三、五合引上等で僅少とは言へ多少楽になつたと思ひます。併し只今の主食の配給一ヶ年の金額をつと九〇〇万円とは皆さんの驚くこととして、今年兵今のぼつ／＼配給辞退等での一割位は下廻りになるかも知れません。

(配給主任記)

#### 昭和二十四年度主要食糧配給各字別明細書

字 名	世帯人員		必要量		世帯人員		必要量	
	世帯人員	必要量	世帯人員	必要量	世帯人員	必要量	世帯人員	必要量
合 計	25,626	2,626	25,626	2,626	25,626	2,626	25,626	2,626
松代	2,100	210	2,100	210	2,100	210	2,100	210
小荒戸	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
下 山	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
池之畑	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
千 年	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
池 尻	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
會 沢	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
清 水	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
桐 山	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
蓬 平	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
東 山	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
海 老	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
犬 伏	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
孟 地	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
片 山	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
瀧 沢	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
中 子	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
宇 島	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110
荒 瀬	1,100	110	1,100	110	1,100	110	1,100	110

### 昭和二十五年産米(雜穀)

事前割當量各字別決議

松代村農業調整委員会は昭和二十五年産米(含雜穀)の各字別事前割當量決定のため三月二十五日本村役場で開会長時間に亘り慎重審議され、たその各字別数字左表の通りである。

字 名	二五年産		二四年産		増 減
	米割當量	米割當量	米割當量	米割當量	
松代上町	498	497	561	79	二八
中 町	566	561	561	7	二二
下 町	461	461	461	0	0
小荒戸	223	250	250	27	三四
田 沢	214	214	214	0	一六
菅 刈	214	214	214	0	0
池之畑	214	214	214	0	0
下 山	214	214	214	0	0
千 年	214	214	214	0	0
池 尻	214	214	214	0	0
會 沢	214	214	214	0	0
清 水	214	214	214	0	0
桐 山(菊)	214	214	214	0	0
桐山(正)	214	214	214	0	0
蓬 平	214	214	214	0	0
東 山	214	214	214	0	0
海 老	214	214	214	0	0
犬 伏	214	214	214	0	0
孟 地	214	214	214	0	0
片 山	214	214	214	0	0
瀧 沢	214	214	214	0	0
中 子	214	214	214	0	0
宇 島	214	214	214	0	0
荒 瀬	214	214	214	0	0
計	8,960	8,735	8,235	74	七四

○算定基礎  
 (1) 昨年の割當面積に各字毎の減反及増面積を勘案して基礎面積とした。  
 (2) 右により反収を縣の割當反収一、三%まで各字毎に引上げて生産量とし夫々の保有量を差引いた上事前供出割當量とした。

### 事前割當に次いで左の通りの指示があった

○昭和二十五年産米の政府の買上げについて、  
 右については追って知事より郡別買入予定数量を町村毎に指示、一等級及二等級の品種により買入希望数量を考慮して之を定めることになりまし。

○買入予定数量の指示について、  
 買入予定数量は四月末日までに生産者に指示を完了するものとし生産者に対する指示は原則としてその變更を認めないこととする。

○買入價格について、  
 芋類の政府買入價格は米麦の政府買入價格及芋類の需給事情を參照して算出するものとし甘藷についてはこれを基礎として次期的格差を設ける。

○芋類の早期獎勵金及超過供出の獎勵金制度は廢止する。

以上 農調係

### ★自農法に依る賣渡農地登記の完了★

※松代村農地委員全取扱に係る買収賣渡農地について御知らせ!!  
 三ヶ年に亘る買収賣渡農地については事務当局に於て昨秋以來増員の上晝夜兼行登記事務に専念努力を致した結果一部の交換等の復雜したものを除いた買収賣渡農地は三月三十一日までに登記事務は全部完了致しました。

皆様がお待ちかねの登記済の権利証をお渡しすることも残務整理の關係で多少遅れますが四月二十日頃までには皆様のお手許に差上げたいと思ひますから御了承を得たいと思ふ。尙登記未済の分も着々整理中でありますから近く全部終了します。

【松代村農地委員長】



良くなる。以上のような氣壓配置の動向はラジオで氣象概況として放送しているからそれによつて知るとよい。

椎茸栽培のため原木を伐り出すのは樹木の休眠期に限るので、芽を出したり、葉が出たり、つまり樹液流動期に入れば原木としては面白くないから、今伐りたい人は急いで切らなければならぬ。

【萬羽記】

### ●公民館新聞名目變更の声

公民館新聞名を變更してはどうかと云ふ声が起りましたが、皆様の御批判にうたへて最も相応しい名目に致したいと思ひます。

【公民館編輯係】

# 科学 家畜ものゝたり

小野島 茂



(一) 産みの悩み

陽春三月既に彼岸とは云ひながら此処上越の山村は未だ数尺の雪に鎖され、れい明の空気が肌にしみて正にシベリヤの寒さを感ぜざるものがある。

昨日生れたばかりの仔牛が病氣との電話に私は今往診靴を背負つて明け方の静かな面も氷ついた雪道を半ばよろめきながら急いで走る。

漸く患者の家について氷ついた様なき物を取り煙草に火を点じながら先づ畜主から様子を聴取する。

予定日を指折り数へて待つてゐると果して昨日の晝すぎになつて産氣付き、お産は割合かくく済み間もなく雌牛を生み落し先づ安心と喜んでゐた。ところが生れた仔牛は元氣がなく母牛の情をつくしての愛撫にもたゞ体をぶる／＼振はせるだけで立つ氣力さへもなく幾ら時間を経過しても未だ哺乳も出来ぬといふのである、そこで診察にとりかゝる、畜主

から新しい糞ぐつをかりて既に入る先づ驚いたのは既合の濕氣が乾いた糞ぐつを通して私の足に傳はり一度踏入れただけで泥田に足をつ込んだ感がある、さも深かそうに見える厩も糞葉といふより厩肥の堆積でその高さは正に馬栓棒に達し仔牛も轉げ落ちそうなる有様である、その上厩の回りは戸と土台のすき間から遠慮なしに冷へ切つた空氣が流入する。

足を堆肥の中に突込みアンモニアのガスを呼吸しながら聴診器を取りだして診察を済ませる。別断大した病氣でもないが軽い風邪であるとの診断を下す。仔牛には先づビタカンフアーの注射を行ひ綿入れを着せ既合の周囲のすき間に悉く糞と藁で風をふせぎ、そして母牛の張りきつた乳房から乳を搾りとり人工哺乳をする中に心配していた仔牛もだん／＼と元氣を取りもどしてくれた。

ふことの出来ぬものと二つの行き方がある。どれも意義があると思ふが私は藝術や文学は矢張り自己の表現であるから、芭蕉の様な行き方に心をひかれる、勿論蕪村の句が自己表現でないといひきるのでもなし、

## 「愛の歌」



市川牧人

芭蕉の句の様に勝れたものもあるが中には随分悪い句もあるけれどもどの句を讀んでみても芭蕉の生活そのものである行き方と、蕪村の様に極めて技巧の勝つた練れた純藝術的な客観的な句であるが作品の上からは蕪村といふ様な人の片りんもどうか、

和歌にしても自分の生活を平易な言

一通り手当を終つてから畜主になせお産の前に厩肥をとり出して新しい糞葉でも入れてやつてくれなさいのかと尋ねると厩肥を澤山つめ込んで置けばはつこう熱と蒸氣で却つてあたゝかくなると思つたからだと答へるそこで私は風呂桶の蓋をとつてをけば蒸氣が澤山出たであつたかそうだからその上に寝たらどうだろうかと思つた例をとつて説明せざるを得なかつた。

おん度、乾そう、濕氣換氣等と色々考へてみたくなる、さて妊娠期間中は胎兒の發育状態は最初はさねめて徐々であるが末期になると急に大きくなる、従つて妊娠の中期までは牛は普及の使役位は差つかへないが、末期には營養分を充分補給し過重な労働はさけなければならぬ。

其の後腹部は次第に膨大して垂れ下り胎動が横腹に分る様になる、この頃に乳を搾ると胎乳が手につく、分娩が近づくと陰部が著しく膨れて弛緩する、お産が近づいたら糞葉をとりにかえて厩は暖かくしてやることだ、陣痛が始めば更に糞葉を多く入れ厩の近くに余り行かない様にして静か

にしてをく、強い陣痛があり出したら普通三〇分四〇分以内には分娩する筈である。普通分娩の場合は何等人手を借さないでも牛自身で生落すし仔をなめて体を乾してくる、この時更に乾いた布等でふきとつてやれば三〇分もすれば仔牛は起き上つて乳をのむ様になる、又乳を呑まないか或いは親が呑ませない様な時には仔牛を抱いて乳房に近づけ母牛の後肢で仔牛をぐらしない様に氣を配つてやらねばならぬ。

分娩後母牛は後産を出すこれは普通取り除いて埋めてしまふ、これを牛に喰せない方がよい等という人もいるがそれは科学的には何ら根拠がなくその儘放置してをけば却つて病原菌の附いたものを喰ふ恐れもあるから早く取り除いた方が安全である。又後産は全部でたかどうかを見届けることが肝腎で一部が残つてゐる色々な生殖器の病氣を起すこともある。

分娩後は喉がかわくから湯等を充分吞ませてやることよ。斯うして待てばお産も安するより産み易しである。

以上

くし、必ず見える様になりませう。お産の辛抱ですと希望を失はぬ様はげましたつづけた、そして時折り歌集などを買つて来て読んでみさせたり二人作つてみたつたりした、この江子こそ田中氏の愛妻江子その人である。郷里へかへつて、僅か百円の恩給と千円の生活援護費を受けたがこのインフレ何の役にたつた、四畝の畑を二人で耕して、あみ物や日履、天草取り等で、生計を立てながら、二人とも和歌の道に精進するのであつた。そして去る一月三十一日宮中御歌会初全国數万の詠進者の中から十六人の一人として選に入つた。

○春の野に光みなる若草をまきぐのわがまがた明るく失明してから十年餘光なき生活にはじめての訪れた光ある日皇太后陛下高松宮妃殿下など御臨席の方々は目が見えぬが、天皇后陛下の御もとを拜して控室に歸つた田中長三氏は愛妻江子さん(二二)と相擁して泣いた。留守たのめども心もなし病みてもより夫の歩みあふなげなるに。○留守たのめども心もなし病みてもより夫の歩みあふなげなるに。○留守たのめども心もなし病みてもより夫の歩みあふなげなるに。○留守たのめども心もなし病みてもより夫の歩みあふなげなるに。

田中長三氏(三三)といふ人が入選してゐた。彼は昭和十四年現役として廣島師團に入營し昭和十六年廣東附近で敵軍のために両眼と片手を奪れたのであつた、そして轉々と野戦病院をわたり歩き開眼の希望を托して九段の河本眼科医院に入院前後四十五回の手術をしたが其の甲斐なく遂に失明してしまつたのであつた。この病院の看護婦に江子さんといふやさしい女があつたが田中氏の悲運に同情し彼につき添つて、

(三月十日)

# 農業講座

村山 幸 榮

## 温床の作り方

(一)苗床の種類……苗床には冷床、温床の二通りあるが温床には温源により電熱温床、醗熱温床等があるが材料が自給自足で誰でも作れるのは醗熱温床です。ここでは之についてのべます。

(二)温床育苗の目的……①早期採収による営利化②生育期間の延長と増収③畑地利用の増進等が上げられるが当地でもこれからはモット温床を沢山作つて経営と経済を有利に導くことが必要です。

(三)共同温床の利点……当地では普通茄子、トマト、胡瓜、甘藷などが温床で播かれていたが茄子に例をとつて見れば茄子一畝歩作するには畦巾三尺、株間二尺として茄子苗一八〇本要るだけですがこれに要する温床温床の面積は石油箱位の大きさで足りるのであるが実際は発熱其他がうまく行かないので七八〇本位欲しい場合でも一坪近いものを作り假植床を省いて本畑へ直接定植する迄におくのが例である。

これでは床温の持続性が出来ず又假植の機会がないので温床のしない丈夫な苗は出来ない。

種子は大量を必要とするが、●不良の事情は温床を共同で作ることによって解決され温床園藝を発達させます。五反百姓の近代的発展の爲には出来るだけ多くの共同化が要請されるがその中でも温床の共同設置は最もやり易く効果の多い一つです。

(四)播床と假植床……野菜園藝の発達している地方では茄子、胡瓜など普通三回位假植しています。昔は假植を沢山行つたものは本畑に定植した際痛みを少くし着花を早く収穫を増すと考えられていたが最近の研究では痛みの少いのは事実であるが生育促進増収ということには役立たないことが認められています。だが播床から本畑へ定植というのは①温が切れぬ。②苗の硬化作用が出来ない点からあらためなければならぬ。当地の様に播種期のおそい所でも一、二回の假植は必要です。播床から假植床に移す場合三、四倍トコの面積を拡げないと同じ苗数を植えられませんが、第二回の假植トコに移す場合も面積を拡げずる假植に当つては親床の床温より之から移す方の

床温が低いと活着が悪いから幾分高いことが大切ですが何れにしても最低一面の假植を行つてから定植しなければならぬ。

## 硝酸アンモニア貯蔵上の注意

紙袋の中には防湿装置がありますが出来るだけ乾そうした場所に置く様に小分した場合には早く溶け易いので溶けても流出しない様に適當な容器(壺)等に保つておくことが必要です。

又下肥に混ぜておくことは成可く避けた方がよいが入れられる場合は完全に腐熟した下肥でない成分を損失します。木炭、生石灰等の発火し易いもの及び薬品等と共に貯蔵して置くこと発火発熱する事があるから充分注意して下さい。単独では特に高温(攝氏二〇〇度以上)の所に置かなければ危険な事はありません。

◇他の肥料との關係  
吸湿性が高いので他の肥料との配合には成分の損失を来すおそれがあるから充分注意して下さい例へば堆肥、厩肥、石灰窒素、過磷酸石灰、石灰草木灰等アルカリ性肥料との併用はいけません。

## ★シヒタケの採取及乾燥について

高 校 方 羽 卓 司

農協組の努力によつて各方面に播種されてきた椎茸も近く春子が発生する時期になつて来た。

之が採種及び乾燥法については当事者より注意があつた事と思われ、全般的に尙一層の徹底を期したいので此の事について簡単に申上げたい。

(一)播(はた)起しについて

今迄の観せ込み期間は湿度があまり高過ぎずはかえつて雑菌が繁殖して失敗することがあるが、愈々椎茸が發生する場合には多量の濕氣が必要である。充分に菌糸の發育した樽木は皮の一部を剥ぎ取つて見ると多少粘氣があつて、皮部と幹がよく密着して、又その皮を嗅いでみると椎茸特有の香りがする。この様な樽木を山林内ならば谷間とか、宅地内ならば植込みの下とか、その他濕氣の多い場所に地上三尺位の高さの横木を設け、之に元口を土に末口を下にして両側から立

てかけておく。萬全を期したいならば成る可く清潔な水に一、二晝夜浸けて尚切り口を玄能か楯で二三回強打して菌糸に刺激を與えよといふ。日中高温になり乾燥の心配のある時は一日一回如露で水をかける。こうしておくと小さな茸が先づ皮を破つて漸次発生して来る。

(二)採種について

椎茸を採種する場合に樽木に傷をつけると後の発生量が減するから、シヒタケの柄を持つて廻すようにして丁寧にまぎとるか、ナイフで切りとり、此の時空にも傷をつけないことが必要である。採取したものを積み重ねておくことハツコウして品質が悪化するから擴げておく。

(三)乾燥について

乾燥して販賣しようと思えば品質のよいものを造らねばならない。シヒタケは低温で発生した多肉質のものが良く蓋が五六分開いたものが最上である。冬茹(トノコ)と云うのは之である。普通品は蓋が開いて縁が僅かに内方に巻き込んだ程度のもを標準とする。晴天の朝に採取を行い、直ちに日光にあてて乾燥すればよい。その方法は蓋を敷きその上に蓋の表を上にして一つづつ擴げる。二三日で大体乾燥する。しかし雨天の続くときは火力乾燥をしなければならぬ。乾燥場が無ければ細い竹串を油で拭つてこれに茸の柄をさして爐の周囲に吊して何回も内外を返しながらく乾かすのである。品質のそろつた良いものを大量に処理しようと思えば乾燥工場を設けることが必要である。乾燥の終つたシヒタケは独特の香氣を持ち、蓋の表面黄茶色で、ヒタ面が黄色を呈し、形は大きく、莖が短く細いもので、茸の笠が反轉していないものが良品である。乾燥したな

## ニヤケ

### 産兒制限の世の中に 人工授精で生れたお嬢さん

これは松代村の和牛

本村に昨年三月縣立松代人工授精所が開設されてから約一年近くになる。処が三月ひな祭にいうのに大字太平市川新十郎さん及千年武田十九八さんの家に夫々元氣な牛のお嬢さんが生れた村の話題を賑やわしてゐる。

去る十日小野島技師語る。

「人工授精は當地では始めての試みであつたのでこの普及には一年間並々ならぬ苦勞をいたしました二月から本交の仔牛が生れ既に十数頭ですが大部分は雄牛です。処が今月入つて漸く人工授精で今迄に二頭生れたのですが何れも雌牛で幸先も良く誠に喜ばしい次第です。受胎率も従来の本交に比べると非常によつたのでこのあと引續いて生れ出す訳ですから全く楽しみです。

殊に最近繁殖障害となる色々な傳染病が多くて、さわがれてゐる折病傳染病に罹る危険もなく又どんな遠くでも出張出来ずから大變便利な訳です。

廿五年度には本所の施設を完備すべく縣當局に於て多額の予算を計上して居りますので更に馬力をかけて眞に本郡東部五ヶ村の人工授精所として有畜農家の皆様に出来るだけのサービスをしたいと考へて居ります。」

と此処まで話されてゐる時事務所から電話のベルが鳴り次の様な豚の人工授精の第一報が舞ひ込んで来た。縣下に先端を切つて松代人工授精所が豚の人工授精に成功したことは既に先般本紙で報じた処であるが電話の要旨は昨夜海老の石沢善平さんの家で人工授精一番乗りの豚がお産をし而も昨年七頭で今年十二頭で母子共に健康という喜報であつた。